

4 池袋本町・上池袋地域

氷川神社の桜



1 地域の特徴

（1）位置

区の北部に位置する池袋本町1丁目から4丁目、上池袋2丁目（豊島清掃工場区域を除く）から4丁目の区域です。環状5の1号線（明治通り）以東は大塚地域、放射8号線（川越街道）以南は池袋東地域と池袋西地域、北東側は北区、北西側は板橋区に接しています。

（2）市街地の変遷

江戸時代の慶安年間（1648～1652年）に、現在の池袋本町2丁目に重林寺が建立されました。

明治18（1885）年には、日本鉄道品川線「品川～川口」間が開通し、明治末頃までに板橋宿へ通じる雑司ヶ谷道沿いにまとまった集落が形成されました。

その後、大正3（1914）年に東上鉄道（現東武東上線）が開通し、昭和時代には川越街道や明治通りが整備され、北西部の谷端川沿いの一部を除き宅地化が進みました。

しかし、戦災により地域の大半が被害を受け、戦後は道路整備が不十分なまま木造アパートが大量に建設されるとともに、住工混在化が進みました。

近年、明治通りや川越街道沿いなどでは大規模なマンションが建設されています。

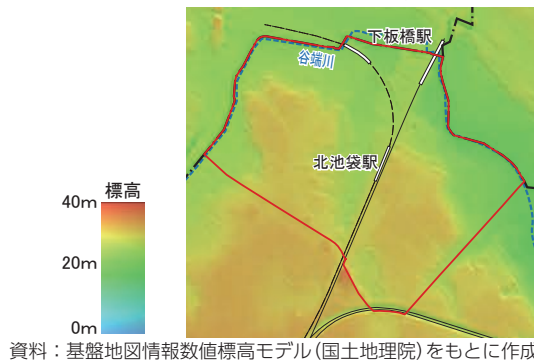
図表5-28 重林寺



（3）主な景観要素

①地形・自然

- かつての谷端川の流れは、現在、谷端川北緑道として整備されています。
- 池袋本町公園や上池袋さくら公園、池袋本町電車の見える公園などまとまりのあるみどりがあります。
- 氷川神社参道は、桜の開花とともに春の訪れを

図表5-29
池袋本町・上池袋地域の等高線

教えてくれる美しい桜並木があります。

②歴史・文化

- かつて池袋の中心であった歴史を現在に伝える氷川神社や重林寺、雑司ヶ谷道などがあります。
- 旧池袋村の鎮守である氷川神社には、池袋富士塚があり、毎年、山開きが行われています。

③まち・境界

- 昔ながらの下町的な雰囲気が残るとともに、近年では大規模なマンションが多く建てられています。
- 北池袋駅や下板橋駅周辺、池袋本町通りなどでは、日常生活に密着した商店街が形成されています。
- 明治通りや川越街道沿いなどでは、中高層マンションによる街並みとなっています。
- 都市計画道路補助73号線及び補助82号線は、東京都が令和7（2025）年度までの整備をめざす特定整備路線に位置づけられています。
- 池袋第二小学校と文成小学校の統合新小学校と池袋中学校を同一敷地内に併設した、池袋本町地区校舎併設型小中連携校（池袋本町小学校、池袋中学校）が整備されています。

④人々が織りなす魅力

- 氷川神社の祭礼や池袋富士塚の山開きなど、地域の歴史や文化が大切に引き継がれています。
- 池袋本町通り商店街では、豊島区の友好都市・山形県遊佐町の特産品が並ぶ遊佐ノ市が開催されています。

図表5-30 谷端川北緑道



図表5-31 明治通り沿いのマンション



図表 5-32 遊佐ノ市



画像提供：遊佐ブランド推進協議会

2 景観まちづくりの視点

- 雑司ヶ谷道沿いの旧池袋村の歴史を現在に伝える重林寺や氷川神社などを生かした景観まちづくりが必要です。
- 谷端川北緑道や池袋本町公園、上池袋さくら公園などのみどりをつなぎ、潤いを感じられる景観形成が必要です。
- 世代を超えて、多様な人々が触れ合うことで生み出される新たなにぎわいを育む街並みづくりが必要です。

3 景観まちづくり方針

1 ゆとりと潤いを創出する

- 池袋本町公園や上池袋さくら公園、池袋本町電車の見える公園などのみどりを生かして、潤いのある景観を形成します。
- 谷端川北緑道は、かつての水の流れを生かして、連続したみどりを楽しめる空間づくりを進めます。
- 池袋本町地区校舎併設型小中連携校と周辺の寺社や公園が一体となった緑化を進め、豊かなみどりを創出します。

図表 5-33 上池袋さくら公園



2 歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する

- 氷川神社や重林寺、雑司ヶ谷道などを地域の資源として、次世代へ引き継ぎ、歴史を感じられる景観を形成します。
- 氷川神社の祭礼や池袋富士塚の山開きなど、地域の歴史・文化を受け継ぐ人々の姿を大切な風景として育んでいきます。

図表 5-34 氷川神社大祭



3 人々の生活・営みを映す

- 北池袋駅及び下板橋駅周辺は、地域の人々が活発に交流し、にぎわう生活拠点にふさわしい街並みを形成します。
- 北池袋駅周辺の商店街は、日常生活に密着した親しみを感じられる街並みをめざします。
- 雑司ヶ谷道沿いの古くからの地域コミュニティと新しく住民となった人々による、世代を超えた交流を風景として育みます。

4 地域の特性を惹き立てる

- 明治通りや川越街道の沿道は、みどりの潤いを感じられる安全で快適な歩行者空間を形成します。
- 特定整備路線である補助73号線及び82号線の整備とあわせて、地域特性を踏まえながら、道路と沿道が一体となった景観を形成します。
- 補助73号線は、池袋副都心からの連続したにぎわいのある街並みを形成します。

5 個性ある街並みを創出し、楽しめる仕組みを構築する

- 遊佐ノ市や池袋本町ふれあいまつりなど、新たなにぎわいを生み出すイベントに地域とともに取り組みます。

図表 5-35 池袋本町ふれあいまつり



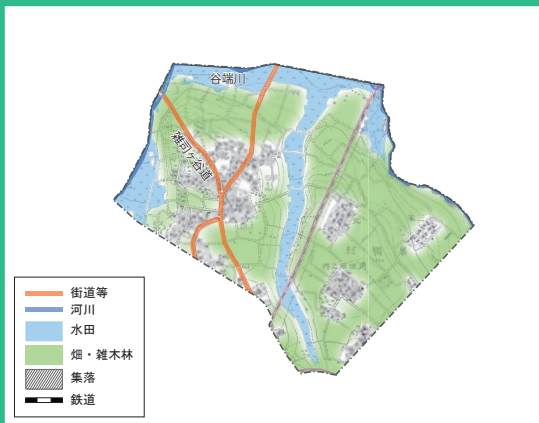
図表 5-36 池袋本町・上池袋地域の景観まちづくり方針図



第5章

地域別景観まちづくり方針（池袋本町・上池袋地域）

明治42（1909）年の市街地の様子



出典：豊島区地域地図第四集 2011、豊島区史跡めぐり

凡例

○	ゆとりと潤いを創造する
○	歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する
○	人々の生活・営みを映す
○	地域の特性を惹き立てる
—	個性ある街並みを創造し、 （全城）楽しめる仕組みを構築する

○	鉄道駅周辺
→	みどりの骨格軸
...	みどりの回廊（幹線道路）

△	坂	文化資源	みどりの回廊（街路樹）
△	寺社	新たな文化拠点	鉄道（J R）
△	花の名所	旧道	鉄道（東武・西武）
△	大学	旧河川	都電
△	教育施設	神田川	都市計画道路未着手区間
△	祭り	公園など	